

RSウイルス母子免疫ワクチン接種のご案内

対象者

接種日時点で横浜市に住民登録のある

妊娠28週0日から36週6日の方

過去の妊娠時にRSウイルス母子免疫ワクチンを接種したことのある方も対象になります。

費用

無料（全額公費負担）



接種場所

市内 協力医療機関 ▶

- ・まずは通院中の産婦人科医にご相談ください。
- ・里帰り出産に伴い、市外等での接種をご希望の方は、事前に手続きが必要です。（詳細は最終ページ）

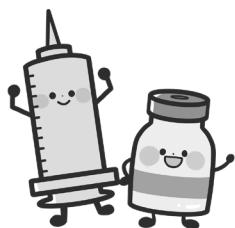
持ち物

- ①母子健康手帳
- ②氏名・生年月日・住所が確認できるもの

RSウイルス感染症ってなに？

- ・急性の呼吸器感染症で、2歳までにほぼ100%の乳幼児が少なくとも一度は感染するとされています。
- ・初回感染時には、より重症化しやすいほか、小児の医療機関受診・入院の主要な原因です。
- ・治療に特効薬はなく対症療法となるため、ワクチン接種が有効です。

赤ちゃんのために、お母さんが打つの？



このワクチンは、妊婦の方に接種すると、母体内で作られた抗体が胎盤を通じて胎児に移行し、生まれた乳児が出生時からRSウイルスに対する予防効果を得ることができます。

ワクチンにはどれくらい効果があるの？

	有効性	
	生後0日～90日	生後0日～180日
受診が必要となった例	6割程度の予防	5割程度の予防
入院が必要となった例	8割程度の予防	7割程度の予防

※ワクチンを接種してから14日以内に生まれた乳児の場合、抗体の移行が十分でない可能性があります。



接種についてご不安なことは、医師にご相談ください。

予防接種を受ける前に、必ずお読みください

予防接種を受けることができない方

- (1) 明らかに発熱（37.5度以上）をしている方
- (2) 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
- (3) このワクチンの成分によって、アナフィラキシーを起こしたことが明らかな方
- (4) その他、医師が不適当な状態と判断した方

予防接種を受ける際に担当医師とよく相談する必要がある方

- (1) 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を持つ方
- (2) これまでの予防接種で、接種後2日以内に発熱や全身性発疹などのアレルギーを疑う症状がみられた方
- (3) 過去にけいれん（ひきつけ）を起こしたことがある方
- (4) 過去に免疫不全と診断されている方及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- (5) このワクチンの成分に対してアレルギーを起こすおそれのある方
- (6) 血小板減少症や凝固障害を有する方、抗凝固療法を実施している方
- (7) 授乳を行っている方
- (8) 妊娠高血圧症候群に罹患したことがある方
- (9) 妊娠高血圧症候群のリスクが高い方（もともと糖尿病や高血圧、腎臓の病気を持っている、肥満がある、40歳以上、ご家族に高血圧の方がいる、双子などの多胎妊娠、初めてのお産（初産婦）、以前に妊娠高血圧症候群になったことがある）

予防接種を受けた後の一般的な注意事項

- (1) 接種後30分間は急な副反応が起こることがあるため、病院内でイスに座るなどして様子をみましょう。
- (2) ワクチンの副反応の多くは24時間以内に出現しますので、特にこの間の体調に注意しましょう。
- (3) 入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くこすることはやめましょう。
- (4) 接種当日は過度な運動を避け、安静に過ごしましょう。

RSウイルス母子免疫ワクチン接種後の副反応

- (1) 接種部位の異常や体調の変化、高熱、けいれん（ひきつけ）などの異常な症状がみられる場合には、すみやかに医師の診察を受けてください。
※ 接種した医療機関とは別の医療機関を受診される場合は、RSウイルス母子免疫ワクチンを接種したことをお伝えください。
また、ワクチンを接種した医療機関にもお知らせください。
- (2) 接種後には10%以上の方に注射部位の痛み、頭痛、筋肉痛が起こることがあります。
また、頻度は不明ですが、ショック、アナフィラキシーが見られることがあります。

予防接種健康被害救済制度について

予防接種の副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障が出るような障害が残ったりなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく補償を受けられる場合があります。（接種を受けたご本人及び生まれたこどもが対象です）

予防接種による健康被害が生じた場合の手続きについては、お住まいの区の区役所福祉保健課健康づくり係にお問い合わせください。

よくあるご質問

Q このワクチンは打たなければいけないの？

A 当ワクチンは、国が接種を推奨しているものですが、ワクチンの有効性とリスク等を十分にご理解いただいた上で接種をご検討ください。

Q 2026年3月以前や、妊娠27週までの接種に補助はあるの？

A 定期接種の開始時期や対象者は国で定められており、定期接種開始日（2026年4月1日）より前の接種や対象となる妊娠週数（妊娠28週～36週）期間外の接種は任意接種となり、補助はありません。

Q 妊婦健診を受診中の医療機関以外でワクチン接種だけできる？

A 妊婦健診を受診している医療機関以外でも接種を受けることは可能です。その場合は、必ず現在通院中の産婦人科医にご相談の上、接種を受けてください。

Q RSウイルス感染症って、どんな病気？

A RSウイルスに初めて感染した乳幼児の約7割は、鼻水などの症状のみで数日のうちに軽快しますが、約3割では咳が悪化し、呼吸困難などが出現します。重篤な合併症には無呼吸発作、急性脳症等があります。生後1か月未満の子が感染した場合は、非定型的な症状が出るため診断が難しい場合があるほか、突然死に繋がる無呼吸発作を起こすことがあります。主に接触感染と飛沫感染で広がり、兄弟姉妹児がいると家庭内で感染が広がりやすいとも言われています。

Q 安全性が心配です。妊婦や子どもに害はありませんか？

A 接種後には注射部位の痛み、頭痛、筋肉痛などがみられることがありますが、通常数日で回復します。妊婦の方と生まれてくる子どもに対する安全性については、専門家によって継続的に評価が行われており、現時点では重大な懸念は認められないとされています。

Q 他のワクチンと同時に接種することはできるの？

A 医師が必要と認めた場合には、他のワクチンと同時に接種することができます。

詳しい情報は市ウェブページをご確認ください。

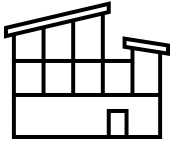
横浜市 RSウイルス母子免疫ワクチン

検索



里帰り出産を予定されている方へ

里帰り出産等で市外での接種をご希望の場合は
事前の手続きが必要です。 ※①、③共に電子申請も可能です



①事前手続き

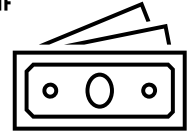
お住まいの区の区役所に
「予防接種実施依頼書」
の発行を申し込み、
書類を受け取ります。
(1~2週間程度かかります)



②市外等で接種

(医療機関に「予防接種実施依頼書」を提出)
医療機関では接種費用をお支払いください。
(約3万円~4万円)

予診票は、医療機関にある任意接種用のものをご使用ください。
ワクチンは、「アプリスポ」のみ妊婦に使用できます。
(アレックスビー、エムレスビアは対象外です)



③償還払い申請

申請後、
1か月半程度で
接種費用が
払い戻されます。
※領収書や接種記録が
必要です。

お問合せ先

■ 横浜市予防接種コールセンター

定期予防接種制度に関するご質問にお答えします。お気軽にご相談ください。

045-330-8561

対応言語：日本語、English、中文、한국어、Tiếng Việt、ネपाली

(英語、 中国語、 韓国語、 ベトナム語、 ネパール語)

FAX：045-664-7296 9:00~17:00 (土日・祝日・年末年始を除く)

■ 各区役所 福祉保健課 健康づくり係

開庁日：月~金曜日(祝日・年末年始を除く)

受付時間：8:45~17:00(窓口) / 8:45~17:15(電話)

区	電話番号	FAX番号
青葉	978-2438	978-2419
旭	954-6146	953-7713
泉	800-2445	800-2516
磯子	750-2445	750-2547
神奈川	411-7138	316-7877
金沢	788-7840	784-4600
港南	847-8438	846-5981
港北	540-2362	540-2368
栄	894-6964	895-1759

区	電話番号	FAX番号
瀬谷	367-5744	365-5718
都筑	948-2350	948-2354
鶴見	510-1832	510-1792
戸塚	866-8426	865-3963
中	224-8332	224-8157
西	320-8439	324-3703
保土ヶ谷	334-6345	333-6309
緑	930-2357	930-2355
南	341-1185	341-1189

■ 横浜市ウェブページ

RSウイルス母子免疫ワクチン接種に関する情報が掲載されています。

